

幹本申5号「2025年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れの交渉を行いました！ その5

第4項 女性組合員・社員が安心して働けるよう、設備の整備、修繕を行うこと

①盛岡新幹線車両センター女性浴室の水圧が弱いことから、調査し整備すること

《会社》状況の確認はした。確かに強いとは言えないが、機器の仕様であって故障している訳ではない。水圧の感じ方には個人差もある。夜間については使用している場合もあるので、昼の時間帯に調査した。

《組合》使用する時間は夜間帯である。男性と同じ時間帯に使うことで影響があるのかもしれない。時間帯を含めた再調査をお願いしたい。

《会社》状況については箇所も把握している。時間帯など引き続き箇所とコミュニケーションを取りながら確認をしていくことは可能である。

《組合》故障でないから修繕しないということだが、壊れて新たに設置をする場合は水圧を強くするのか？

《会社》この場で水圧を強くして復旧するとは明言できない。そのような声があるのは把握しているので、それを踏まえて総合的な判断になる。

②仙台駅下りホーム盛岡方・越後湯沢駅上下ホーム東京方・新潟駅上下ホーム新一運方の女性トイレ整備について、検討結果を明らかにすること

《会社》ホーム上などスペースが限られている。男女別のトイレを置くのは厳しい。

《組合》代替の場所の検討はしているのか？

《会社》仙台駅は東京方に行けば男女別のトイレはある。そちらを利用していただくのも可能ではないかと考える。

《組合》今の時代に男女共用のトイレというのはあまり聞いたことがない。これは大きな問題であるが、その認識は？

《会社》把握はしているが、構造上非常に厳しい。様々な課題があることから現時点で女性トイレの設置についてこの場では明言できない。

③仙台新幹線運輸区4階女性休養室の浴室を現行から個室シャワー室にすること

《会社》女性社員の皆さんからの声があって那須塩原駅の女性浴室の改修や、仙台駅の乗務員詰所の給湯器の改修を実施した。引き続き、社員の皆さんの声を必要な箇所に状況に応じて反映させていく考えである。

《組合》精査中とか調整中という言葉は何度か使っていたが、話は本当に前進しているのか？

《会社》予算がどれくらい掛かるだとか、その場所に設置することがルール上問題ないかだとか、様々なことを具体的に検討している段階である。あくまで検討段階であるので、できるかどうかは明言できない。会社として皆さんから声が上がっているので責任を持って判断するために動いている。そこはご理解いただきたい。

繰り返し提起してきた問題の早期解決を会社に訴えました！